

平成 25 年 4 月 22 日

IOSCO による最終報告書「効果的な市場監視に対する技術的課題：問題及び規制手段」

証券監督者国際機構（IOSCO）は、本日、「効果的な市場監視に対する技術的課題：問題及び規制手段」と題する最終報告書（以下、「本報告書」という。）を公表した。本報告書は、効果的な市場監視に対する技術的課題に、市場監督当局が対処する際に資する提言を提示するものである。

効果的な監視体制は、市場で行われる取引を公平かつ秩序立ったものにすること、及び市場監督当局が市場の不正を見つけ明らかにすることを確実にするために必要とされている。しかしながら、近年、証券市場における技術発展は、これらの目的達成をますます困難にしている。

本報告書は、現在の市場監視体制を概観するとともに、技術発展がこれらの体制にもたらした主要な課題を特定している。また、本報告書は、市場監督当局が、特に以下の点に関する課題に対処するための規制手段を策定する際に役立つ、最終提言を定めている。

- 同一金融商品が複数の取引所等で取引可能な場合や、特定の原資産を対象とした複数の金融商品が存在する場合の監視機能の改善
- 監視目的で収集した情報を、市場監督当局にとって更に有用なものにするための方策

市場監督当局が、効果的な監視体制における上記 2 つの目標を達成できるよう、本報告書は、取引や注文状況の再現を可能とする監査証跡や監視データ、管轄域内における取引に係る単一の報告拠点（single reporting point）及び取引主体識別子（unique entity identifiers）を含む、市場監督当局が直面している課題に対処するための新しい規制手段を検討している。

2010 年、G20 は、IOSCO に対し、市場の健全性及び効率性を向上させるとともに最新の技術発展が金融市場に及ぼすリスクを軽減させるための提言の策定を求めた。これに対して、IOSCO は、2011 年 10 月に「*技術革新が市場の健全性・効率性に及ぼす影響により生じる規制上の課題*」と題する報告書を公表した。2012 年 8 月には、

「効果的な市場監視に対する技術的課題：問題及び規制手段」と題する市中協議報告書を公表した。本報告書により、G20 のマンドートを達成するものである。

劇的な変革

証券市場は、ここ数年間、劇的な変革を遂げてきた。急速な技術進歩や規制の発展は、証券市場の構造、市場参加者の種類、採用される投資戦略、取引速度の増加及び取引商品の量に根本的な変化を生じさせてきた。

証券取引は、証券取引所やその他の各種取引施設の間で更なる分散が生じている。証券取引所及びその他の取引施設はより多くの注文をめぐり、革新的な注文方法、新しい情報商品及びその他のサービス、取引費用やリベートを通じて積極的に競争を行っており、市場における競争は更に激しくなっている。

取引の自動化により、市場参加者は数分の一秒の間に様々な商品を非常に大量に取引することが可能になったため、法令違反又は不適切な行動のリスクは増加する可能性がある。また、取引が行われるスピードは、従来の考えのままで市場を効果的に監視することができるかどうかについて影響を与えている。加えて、複数の取引所及び取引施設間で取引の更なる分散が生じているため、注文や取引の監視・追跡が更に困難になっている。

現在の高度に自動化・分散化された市場における取引活動を効率的・効果的に監視するために必要な全ての情報を適時に取得するためには、情報の収集、蓄積及び入手能力を含む現状の監視手法を強固にする必要があるだろう。